

4月臨時 議会報告

メガフロート提供一雇用確保に責任を 国民健康保険料限度額引き上げやめよ

日本共産党 静岡市議会議員団

ニュース

2011-No.3

日本共産党静岡市議会議員団
 議員控室 TEL 054-254-2111
 (内) 4541
 FAX 054-272-4695
 アドレス http://www.jcpss.jp/
 メール yksf5@jcpss.jp



質疑

国民健康保険料の上限額を引き上げる条例「改正」を議会の議決ではなく、市長の専決処分で決定したことについて、議会の形骸化につながるおそれがあり、今後の改善を求めました。当局は緊急を要したためとされていますが、議会を招集する時間的余裕はあったと考えられます。

海釣り公園契約解除で雇用の責任を

清水港内で海釣り公園として使っていた大浮き棧橋（メガフロート）が放射性物質を含む汚染水の貯留施設として東京電力に提供されました。福島原発事故対策に役立ってほしいと切に思います。今まで海釣り公園で働いていた方々の雇用保障についても市が責任を持つよう質しました。

反対討論

国保料限度額引き上げの

条例改定の専決処分に反対

内容は国保料の限度額を73万から77万円に引き上げる条例改定を市長が専決処分したものです。

共産党議員団は、負担増を国の方針の先取りで強行すること、限度額引き上げを専決処分で承認を求めるという議決の方法が議会軽視につながるから反対しました。

昨年も同様の専決処分をしましたが、暮らしが困窮しているのに負担おしつけは許されません。

避難ビルは万全か

駿河区の避難ビルなど実態調査

5月9日、党市議団は東日本大震災の教訓から、駿河区の避難ビルや津波対策について実態を調査しました。避難ビルは市内56ヶ所、その内駿河区は4ヶ所しかありません。地震が起こっても即座に避難できる高い建物は限定しているため、地域の住民の安全確保のためには、避難タワーの建設などが必要です。用宗の避難ビルは民間のため、所有者が屋上の鍵を管理していますが、災害はいつ起こるか予測できないため、責任も重くなります。公的責任での対応も必要だと痛感しました。



駿河区用宗の避難ビル6F、受入れ可能は100人程度か



浜川水門。6mの津波に対応というが「想定外」もあり得る

2011年度 委員会の所属



議員団団長
山本 明久議員

都市建設委員会
 清掃対策審議
 中山間地活性化及び有度山整備促進特別委員会



議員団副団長
内田りゅうすけ議員

生活文化環境委員会委員長
 共立蒲原総合病院組合議会



鈴木 せつ子議員

厚生委員会
 国民健康保険運営協議会
 総合治水及び海岸保全対策特別委員会委員長



寺尾 昭議員

総務委員会副委員長
 議会運営委員会
 新都市拠点整備及び公共交通対策調査特別委員会